

補章 ウィズコロナ・アフターコロナ社会への対応

新型コロナウイルス感染症の影響に的確に対応しながら、基本構想に掲げる将来都市像（「豊かなまち、環境文化都市ちちぶ」）の実現に向けた取組を継続するため、ウィズコロナ・アフターコロナ社会への対応を進めます。

(1) ウィズコロナ社会への対応

- ・「新しい生活様式」など、感染拡大防止に関する啓発を積極的に進めます。
- ・市立病院を新型コロナウイルス感染治療の地域中核病院として位置付け、的確な医療の提供により、その責務を果たしていきます。
- ・秩父郡市医師会、秩父郡市歯科医師会及び秩父郡市薬剤師会との連携をさらに強化し、協働で医療体制を整えていきます。
- ・市民一人ひとりが知識や意識を高め、自ら率先して取り組めるよう、健康増進事業を推進します。
- ・飲食店や旅館等における感染防止策の徹底、市施設及び避難所のコロナ対策等、ウィズコロナに対応した環境整備を進めます。
- ・感染症対策を十分に施したうえで、市内消費を促進します。
- ・秩父市業務継続計画（BCP）に基づき、感染拡大を防止しながら業務を遂行できる環境を整えます。また、電子化による新しい「働き方改革」を実践していきます。

(2) アフターコロナ社会への対応

- ・コロナ禍収束後のアフターコロナ社会にいち早く対応し、地域経済の回復を図るため、幅広い経済対策を講じます。
- ・東京一極集中の是正の機運を秩父市発展のチャンスととらえ、秩父市の利便性をアピールし、企業誘致や移住促進を進めます。
- ・秩父地域おもてなし観光公社や秩父地域地場産業振興センターとの連携強化や道の駅ちちぶの充実などにより、コロナ禍収束後を見据えた観光振興を進めます。
- ・テレワークやオンライン会議、ワーケーションなど、新しい多様な働き方に対応した施策を進めます。
- ・新たな製品開発や新分野への進出、リモートワークの導入などに取り組む企業を支援します。
- ・Society5.0や自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）など、地域におけるデジタル化施策に迅速・適切に取り組み、持続可能なまちづくりを進めます。